

大正14年鹿野村の被災情況



◆西河内復旧事務所



◆狐原地区の損害状況



◆田原橋潰落全景



◆学校職員活動状況

来店はご自身でされたお客様。お買上げ頂いた後、送りましょうかと申し上げたら、スパーで買いた物があると言われるので寄り道して、送りました。ご自宅までの帰りの寄り道もOKです。銀行、役場、病院等、どこでもご利用いただけます。ご自宅だけのご利用もできます。お気軽にお声かけ下さいませ。

無料送迎つれづれ

無料宅配つれづれ

- ◎しめ縄・ミニ門松づくり
 - ・場所 渋川ふれあいの家
 - ・日程 12月18日(日)
 - ・時間 10時~15時
 - ・参加費 大人1500円
 - ・主催 渋川をよくする会
 - ・申込先 電話 68-2821
 - ◎自主防災ワークショップ
 - ・場所 コアプラザかの2階
 - ・日程 12月20日(火)
 - ・時間 18時から
 - ・議題 自主防災活動の方向性
- 第3回、アドバイザーは幸坂美彦氏。どなたでも参加できます。

鹿野を美しくする会

11月はせせらぎパーク身障者用トイレ掃除をいたしました。アルミルーバーを徹底的に綺麗にしました。水と洗剤は可能な限り少なく使って掃除するのが理想、無駄使いを反省しました。12月はせせらぎパーク女子トイレ掃除を「日本を美しくする会」方式で18日(日曜日)8時より2時間の予定で掃除します。長靴を履いてご参加下さい。お待ちしております!

自主防災ワークショップ



11月22日(火) 自主防災に関するワークショップに参加させて頂きました。会議の開催は10月19日(水)が第一回目、今回が二回目となります。前回、私は先約があり不参加でした。見せて頂いた前回の資料によると以下の様な意見があったようです。

人口減少、福祉環境、医療、交通、空き家、産業、有害鳥獣、防災への対策、地域がかかえる問題が話されたようです。その対策の中で面白いと思ったのは、人口対策としての村コン、福祉対策としての飲み会、産業対策としての不耕作地にフジバカマを植えることでした。それらをすすめていくことで集まる機会が増えそうです。そのことが重要だと思えました。今回は三グループによるワークショップでした。私たちのグルー

プでは空き家対策などについて語り合いました。それぞれのグループの発表の中で、大地庵は除雪の会が組織されていること、渋川では避難訓練が行われていること、大潮では地区ごとに防災組織があることを知りました。また、老人会が防災運動会を九年間続けて来られてその能力が向上されておられることも知りました。

アドバイザーの幸坂美彦氏は、地域づくりに防災ははずせない。鹿野全体で取り組むべき。その取り組み方は、核となる団体をつくりそれぞれの地域にパイプを作って進めるのが望ましい。また、核になる団体が自分たちだけで進めるのは好ましくない。自治会やコミュニティの方々とみんなの手を取り合って進めることが望ましい。災害時、消防署や消防団は業

務過多だから当てにしない。自分たちで対応できるような組織と仕組みを急いで作り上げる必要がある。防災の基本は、知ること、見ること、伝えること、そのように私はお話しを聞きました。

その中で、原勝巳さんが過去の鹿野の災害、その被災写真の存在を伝えて下さいました。恥ずかしながら、私はこの災害を知りませんでした。原氏から写真資料をお借りできましたので披露。大正十四年、西河内、中津、石ヶ谷、今井を襲った水害。『九月二日 午前十一時頃ヨリ降りダス。雨量ワバケツノ水ヲウツスガ如ク、大雨降リダス。山崩レ及田畑ノ流失甚大ナリ、雨ノ降ル間ワ二時間位。』鹿野災害歴史を知り、地域が抱える課題、その解決の為に第3回ワークショップで語り合いました。

第 25 号
 平成 28 年 12 月 10 日
 編集文責：中西秀幸
 発行：(株)中西商会
 〒745-0302
 周南市鹿野上 3217 番地
 TEL 0834(68)2106
 FAX 0834(68)2103
 日祝日はお休み
 毎月 10 日発行予定

益田市立鎌手中での第237回益田掃除に学ぶ会の例会に参加。代表世話人の佐々木昇氏が早めに来られて後から来られる方々の為に学校スリッパを履きやすいようにキチンと並べておられました。掃除に学ぶとは、平生もこのように振る舞える事とその後姿に教えて頂きました。